

子供との会話依頼とメールシステムを利用した調査

成果（保護者アンケート調査より）

方法：一斉メールシステムを利用し、入学よりスタートカリキュラムが終了する5月半ばまで、金曜毎に、「①お子様は学校が楽しいと感じていますか」「②お子様は学校生活に不安を感じていますか」について4件法（はい、どちらかといえははい、どちらかといえはいいえ、いいえ）と自由記述で尋ねた。

結果：楽しさ保持率（①に肯定的な回答をした割合）は、体験入学後100%、入学3日後98.2%、5月中旬93.3%といずれも高かった。不安感保持率（②に肯定的な回答をした割合）は、体験入学後61.5%、入学3日後37%（昨年度55%）、5月中旬11.4%（昨年度17%）とスタートカリキュラムを実施していなかった昨年度に比べ、入学後の不安感が激減した。

自由記述では、スタートブックや附坂小型連絡帳（本校HP参照）、PTAウエルカムパーティーのピアサポート（p11参照）により、学校の様子や子供の楽しみと不安がよく分かりとてもよかった。調査があることで親子の会話がはずみ、なかよしタイムでいろいろな物や人とかかわったこと等をたくさん話してくれて親としてもうれしいと好評であった。

スタートカリキュラムのその後の効果

入学よりスタートカリキュラムが終了する5月半ばまで、一斉メールシステムを利用し、金曜ごとに全保護者からアンケートを取った（学園だより1学期号参照）。この調査により、一人ひとりの子供や保護者が不安を感じていることが把握でき、その後の指導に活かした。

例えば、人前で話すことに不安を感じていたAさんには、発表ができたときや友達に声かけができたときに、タイムリーに褒めるだけでなく連絡帳にシールを貼り、評価できるようにした。母親はそれを見て、家で安心して褒めることができ、Aさんにとって学校でも家庭でも褒められることになりどんどん改善されていった。



不安改善のための連絡帳

<学園だより～改革と周知～ 63号64号より抜粋>